

2021年4月5日

キヤノンメディカルシステムズとコニカミノルタ、整形外科領域における超音波診断装置の販売事業で協業

キヤノンメディカルシステムズ株式会社（本社：栃木県大田原市）とコニカミノルタジャパン株式会社（本社：東京都千代田区）は、国内整形外科領域における超音波診断装置の販売事業において協業することを発表した。

キヤノンメディカルとコニカミノルタジャパンの間で販売契約を締結し、キヤノンメディカル製のコニカミノルタジャパン専売向けモデル超音波診断装置「Viamo sv7（ビアモエスブイセブン） / KMモデル」を、整形外科領域におけるコニカミノルタジャパンの取り扱い製品とする。また、キヤノンメディカル製の超音波診断装置「Aplio i700（アプリオ アイ 700）」「Aplio a / Verifia（アプリオ エー／ベリフィア）」についても整形外科領域においてコニカミノルタジャパンが取り扱うことができる製品とする。

キヤノンメディカルの超音波診断装置は、幅広いラインアップと独自の高精細画像技術に強みを有しグローバルに事業を展開している。国内においては大学病院や検査室を中心とした内科や循環器科、乳腺領域に高いシェアを持っている。また、サッカーやバスケットボールなどプロチームのオフィシャルメディカルスポンサーとして超音波診断装置を始めとした画像診断装置を提供し選手のケガの診断やリハビリなどサポートを行っている。

コニカミノルタジャパンは、整形外科領域における超音波診断装置の新たな活用を開拓しながら、同領域での国内トップシェアを確立してきた。今後は、さらに「運動器リハビリテーション」という分野に着目し利用を広げたいと考えており、今回のタブレット端末型超音波診断装置「Viamo sv7 / KMモデル」の投入で患者がリハビリを行っている場所により使いやすく導入しやすくなる。また、ハイエンド機2機種をラインアップすることで、整形外科領域での広いニーズに応じてゆくとしている。

—以上